

◀情報共有を図った専門委員会、PT、活性化委員会

日遊協委員長・リーダー会議

活性化委との連動強調

庄司会長「優先テーマの再セットへ」

専門委員会、PT(プロジェクトチーム)間の調整を図るとともに、遊技産業活性化委員会の活動を促進させるため、委員長・リーダー会議が12月8日、本部会議室で開かれ、専門委員会、PT、活性化委員会、本部事務局から14人が出席した。

冒頭、庄司孝輝会長は「遊技産業



活性化委員会は6団体の委員で構成し、その下のWGが『多様なニーズに定める遊技機の開発』『ファン創出のP R活動』『依存問題』という重要課題に取り組んでいるが、これと日遊協の専門委員会・P

Tの動きが合っているのかどうか検証し、専門委員会・PTでのテーマの優先順位をセッとし直すことも考える。また、活性化委員会のほうは、構成団体の代表者が会って決め事を決め、それを活性化委員会に落としとして期日までに仕上げるという形でスピードアップを図りたい」と述べた。

広報調査、人材育成、遊技機、社会貢献・環境対策の4専門委員会、依存問題、風営法の2PTの順で、今期のこれまでの動き、来期の構想を説明した。続いて活性化委員会から大久保正博委員(副会長)、岸野誠人遊技産業PRWGリーダー(理事)が現状を報告し、情報共有を図るとともに意見交換した。

依存対策の動きで協議

この中で、日遊協の依存問題PTが活性化委員会の依存(のめり込み)問題WGを兼ねている変則状態について意見が出された。依存問

題に関しては同PTが業界団体の中で先行しており、問題解決にスピードが必要なことから、同PTは他団体からのオブザーバーを受け入れる形で活性化委員会のWGを兼ねている。同PTは現在、「依存(のめり込み)問題対応ガイドライン(案)」および運用マニュアル(案)をほぼ完成させ、「3月1日施行」を目標として1月16日の活性化委員会に諮る段階に来ているが、同委員会での難航も考えられ、その場合の対応策を協議した。

【専門委員会】福山裕治(広報調査委員長)、前田竜哉(人材育成委員長)、内藤裕人(遊技機委員長、遊技機検討WG) 【PT】安藤博文(依存問題PT兼依存問題WGリーダー)、茂木欣人(風営法リーダー) 【本部】篠原弘志(専務理事)、伊東慎吾(常務理事)、山本健二(事務局長)

依存問題PT

12月3日
本部会議室
出席委員等9人、オブザーバー1人

ガイドラインの詰め

1月に活性化委に提出へ

依存問題PTは遊技産業活性化

委員会の依存問題WG(ワーキンググループ)を兼ねているため、全日遊連、日電協、全商協、回胴遊商から7人がオブザーバーで出席した。活性化委員会が制定することになる「パチンコ店における依存(のめり込み)問題対応ガイドライン(案)、及び運用マニュアル(案)のそれぞれ文言を検討した。このあと再度の修正を行って大筋をまとめ、1月16日の活性化委員会に提出することを確認した。

ガイドラインは、依存問題に対する啓蒙・啓発などパチンコ店の対応、お客様との向き合い方などについての基本的な取り組み指針を定めている。内容には、「経営者及び担当者の役割」、「社会に向けた取り組み(一次予防)」、「来店客に向けた取り組み(二次予防)」などが入り、随時更新が前提となる。

また、運用マニュアルはガイドラインの指針に沿ってパチンコ店従業員がホール現場で適正な措置を講じるため、運用上の具体的な取り組みツールおよび留意事項等をまとめている。ツールには自己診断チェック表が含まれており、従業員、お客様双方の自己チェックに活用できるようになっている。

自己申告プログラム検討会

現行システムを改良 設備関連3団体 早期実施を確認

日遊協が依存問題対策の1つに位置づけている自己申告プログラム検討会が12月2日、本部会議室で開かれた。さる10月30日に続く会合で、設備機器関連3団体(自工会、PSA、認証協)の幹部及び実務者と日遊協から計14人が出席した。また、警察庁保安課、大門雅弘課長補佐がオブザーバーで出席した。

主に自己申告プログラムのソフトをつくる方向で加盟各社に推進していくことを確認した。この後、3団体各社がさらに技術上の打ち合わせ等続け、早期実現を目指すことになった。

3団体及び個社からの検討案や運用イメージが5種類提出され、それらをもとに議論を進めた結果、3団体は依存問題を抱える人への対処方法として、プリペイドカード・ユニット等を使いながら、自

ソフは例えば、お客様本人または家族が1か月5万円の小遣いを設定し、その金額を申告した場合、お客様が5万円を使った段階で店側またはお客様側に報知するという内容が考えられる。この日提出された検討案や運用イメージは、いずれも早期実施を想定して、現行の最新システムの中で多少の改良を加えることにより、少ない負担で実施できる内容となっていた。

る日遊協ブース「パチンコ&パチスロフェスタ2015 in ニコニコ超会議2015」の企画案がまるとり、提出された。出展の目的は、①ユーザーに対してパチンコ・パチスロ業界の認知拡大を図るとともに、パチンコ・パチスロに触れるきっかけづくりを行うこと ②年齢制限の案内、適度に楽しむ遊びの啓蒙など業界情報の発信を行うこと——となっている。



自己申告プログラムを協議した検討会

遊技機委員会

12月16日
本部会議室
出席委員等17人

「ニコ超」の企画まとまる

4月25、26日に千葉・幕張メッセで行われるニコニコ動画主催の「ニコニコ超会議2015」に出展す

1月の行事予定		
8日(木)	12:00~13:30	支部運営会議(グラウンドアーク半蔵門)
	14:00~16:45	理事会(同)
	17:00~17:30	会員報告会(同)
	17:30~18:00	記者会見(同)
	18:00~19:30	新年祝賀会(同)
9日(金)	15:30~17:30	社会貢献・環境対策委員会(同)
	15:30~17:30	人材育成委員会
14日(水)	15:30~	推進機構理事会(ホテルメトロポリタンエドモント)
	16:00~17:30	6団体代表者会議
16日(金)	13:30~14:30	遊技産業活性化委員会(全日遊連)
19日(月)	15:00~17:00	自己申告プログラム検討会
	13:30~14:30	不正対策室会議
20日(火)	15:30~17:30	遊技機委員会
	13:30~14:30	リサイクル推進委員会(日工組)
	15:00~16:00	セキュリティ対策委員会(同)
22日(木)	16:30~17:30	中古機流通協議会(同)
	10:00~17:00	遊技機取扱主任者講習・試験(新規)(都市センターホテル)
23日(金)	10:00~16:50	遊技機取扱主任者講習・試験(更新)(都市センターホテル)
	15:00~17:00	風営法PT
27日(火)	15:00~17:00	広報調査委員会
	16:00~17:00	パチンコ・パチスロ産業21世紀会(第一ホテル東京)
	17:45~19:00	パチンコ・パチスロ産業賀詞交歓会(同)
28日(水)	10:30~12:00	遊技産業PRWG
29日(木)	10:00~17:30	店長・管理職能力開発講習(本部会議室)

JANUARY

ブースのサイズは20小間(180㎡)で、CLOSEDエリア、OPENエリアに分割する。CLOSEDエリアの内容は、遊技機の展示・試打、初心者コーナー、アンケート実施・ノベルティグッズ配布で、18歳未満は入場禁止とする。展示・試打用は現行遊技機で、最大50台を予定している。初心者コーナーは未経験者や休眠層に向けて興味喚起を図る内容で、

「耐久テスト」「設備点検」などのデモンストラーション、遊び方などのパネル展示を検討している。OPENエリアはステージイベントが中心で、芸能人等によるトークショー、ミニライブ、実験イベントなどを開催する。さらに、協賛メーカーのPRコーナー、業界情報発信のための「ぱちんこの案内」を設ける。ブース映像のWEB配信も予定している。

第13回 人材育成フォーラム

後ろ倒しはどう乗り切る 2016年度 新卒採用

会員企業の人材担当者を集めた第13回人材育成フォーラムが12月5日、本部会議室で開かれた。今回のテーマは、新卒採用スケジュールが後ろ倒しになることを踏まえての、「2016年度新卒採用をどう乗り切る!」。15社から21人の人事担当者が参加し、講演、企業プレゼン、ディスカッション等が行われた。

思います。積極的に情報交換していただいで、解決のヒントを見つけてください」とあいさつした。学生は「接触」で決める

講演は「2016年度新卒採用マーケットの動向と採用成功に向けたご提言」と題して、㈱リクルートキャリア新卒事業本部、小出毅氏が登壇した。小出氏は、学生、大学、企業の3つの動向を分析しながら、要旨次のように話を進めた。

「最近の学生の傾向は、企業を選ぶときに最も重視する条件として、就活開始当初に高かった『業種』が

冒頭、主催の人材育成委員会から前田竜哉委員長が「採用スケジュールが後ろ倒しになって、人事担当として戦略に苦慮していると

12月時点では落ち、一方で『一緒に働きたいと思える人がいるかどうか』が大きく上昇しており、社員との直接接点である面接、先輩社員との接触等の過程で半数以上が志望度を高めている。

大学では、単位が保有できるインターンシップ制が増えてきている。学生は夏休み中にインターンシップを受け、それが単位になる。大学は、インターンシップで企業がどういった良質な経験を学生にさせてあげられるかを軸に見ている。企業は、早期認知形成(インターンシップ、WEB広報)を強化する傾向がある。学生は内定を保留しやすくなり、企業は辞退されるリスクが高まっている。辞退を防止するには、内定学生が自分の言葉で入社理由を(親や友人等に)語れる状態にすることが大切で、そのためには先輩社員や面接官との接触が重要なプロセスになる」。

3月7日に東京ビッグサイトで開催される「リクナビSUPERスタートアップ★LIVE」に、日遊協として出展するブース「パチンコ産業合同説明会」について、内容(講演、ノベルティグッズ、遊技機の設定等)、担当者の割り振りなどを話し合った。対象は平成28年(2016年)3月新規学卒者(現在の大学3年生)で、動員数2万人を見込んでいる。

警察庁生活安全局人事 保安課長に小柳誠二氏



警察庁は12月11日付で、楠芳伸生活安全局保安課長の内閣情報調査室への転出に伴い、後任の保安課長に小柳誠二北海道警務部長(写真)を発令した。小柳氏は東京大学経済学部卒。1991年警察庁入庁。千葉県警捜査二課長、在中国日本大使館一等書

記官、警視庁広報課長、京都府警刑事部長、警察庁長官官房人事課監察官などを歴任、13年8月北海道警警務部長。神奈川県出身。47歳。

また、日遊協は説明会を運営するための協賛企業を募っている(締切1月21日)。協賛金は16万円(税込)。協賛の特典として、①リクナビページ内の業界特設サイト上で社名及びロゴ、コメントを上位掲載 ②講演の待ち時間(30分に1度)に企業広告を投影し、ブース周囲に企業パンフレットを100部設置 ③個社でも活用可能な業界理解促進ページのデータを提供——がある。

人材育成委員会

協賛に費用と特典

「合同説明会」で募集

12月5日
本部会議室
出席委員等9人

持ち時間で紹介した。

「依存対策」の要件追加を 特別風営業者規定

風営法の改正要望案を協議した。その中で、特別風俗営業者の規定を改正する案が出され、検討していくことになった。具体的には、優良な営業者の要件に適切な依存対策が講じられていることを追加し、さらに特別風俗営業者に付与される特典を増やすことを要望する。前提として、現行の指示処分1つでの特別風俗営業者認定取消しは過酷なので、緩和を要望していく。

特別風俗営業者には、過去10年間に処分を受けたことがなく、かつ現に処分を受けるべき事由がない等の、一定の要件を満たしている風俗営業者が、申請の上認定される。認定されると、店舗改装の際に、本来なら事前承認が必要な構造設備の変更(変更承認申請)が、事後の届出で足りる等の特典が得られる。

先の臨時国会に提出され、衆院解散によりいったん廃案となった風営法の一部改正案の内容が説明

された。一部改正案はダンス営業の規制緩和等が盛り込まれ、従来1〜8号となっていた風俗営業者の定義が1〜5号に再定義され、7号営業だった「ぱちんこ、麻雀等」は4号営業となった。

日工組のECO遊技機開発について、行政当局への申請を含めた進捗状況等が、日工組の説明に沿って報告された。今後のIR推進法案の行方と、遊技業界に関係する依存対策の動きが説明された。

広報調査委員会
12月18日
本部会議室
出席委員等11人

「報告書案」を提出 ファンアンケート調査結果

「2014年パチンコ・パチスロファンアンケート調査(ホール来店客調査)」の報告書案が提出された。調査は昨年10、11月に日遊協



風営法の改正要望案を協議した風営法PT

会員ホール及び東京都遊技業協同組合青年部、九州地区遊技業組合連合会青年部の協力で実施され、全国181ホールに来店したお客様から3281の回答サンプルを得た。報告書案は修正をえられて1月8日の第5回定例理事会に提出され、承認後に公表される。

この調査は、ファンのプレー行動や意識、ニーズの実態とその変化等を経年的に定観測して分析し、今後のパチンコ・パチスロ業界のあり方の参考にしていくことが目的。07年から毎年実施され、8回目となる。

業界情報の発信に関して、委員からメールでアトラダムに募った情報項目、発信方法を事務局がまとめ、提示した。項目は市場規模、売上、歴史などからプラス面、マイナス面取り混ぜて多岐にわたり、その中から項目を選び委員が

試作することになった。

PSIO・不正対策室会議

3か月ぶり700件台 「化物語」電磁波未遂目立つ

不正対策室会議(室長・伊東慎吾日遊協常務理事)は12月15日、日遊協本部会議室で委員ら12人が出席して開かれ、PSIO(不正対策情報機構)への入力状況の報告を行い、ゴト・不正情報について協議した。

2014年11月のPSIOオープンネット(業界及び一般ファンからの不正情報)は711件。業界から31件、一般ファンから680件の入力があり、2013年11月と比べると65件増(2013年11月646件)で、3か月ぶりに700件を超えた。

ゴトに関してはパチンコで玉掛かり、持ち込みゴトが多く、パチスロで「化物語ZX」に対する電磁波ゴトが目立ち、センサー発報などによる未遂が多く報告されている。不正情報では、遠隔操作とするものが依然として多数を占め、打ち子、広告・宣伝に関する入力されている。顔認証カメラについての指摘も増加している。